

# 保健医療計画(進行管理対象事業)の進捗状況について

## 1 健康づくりの推進

---

### ○ 健康的な生活習慣の確立

#### (1) 栄養・食生活の改善

食生活の改善に向け栄養成分、食事バランスなど、毎年テーマを変えながら栄養教室を実施している。バランスよく食べることの大切さ等の知識や基本的な調理技術を伝えることで、参加者の食への興味を広げることができた。(実績報告 P. 77 事業番号 1-1-1)

#### (2) 歯と口腔の健康

従来10年間隔であった受診間隔を、28年度より30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳に変更し、地区歯科医師会への委託により8月1日から12月28日まで実施した。その結果受診者数が増加した。受診率向上に向け、今後も受診券の個別送付や周知に努める。(実績報告 P. 78 事業番号 1-1-5)

### ○ 生活習慣病対策

#### (1) 生活習慣病の予防

生活習慣病の特性についての区民の理解を深め、生活習慣の改善の重要性について知ってもらうため、健康教室を開催している。25年度から28年度を通してウォーキング教室の参加人数は目標値を越えている。健康スキルアップ教室では参加者層の幅が広がるよう工夫した結果、以前より40～50代の参加者が増えた。(実績報告 P. 78 事業番号 1-2-1)

#### (2) 生活習慣病の早期発見

25年度から28年度において目標値まで到達していないが、受診率向上のため工夫を行っている。特定健康診査では、受診券送付時の封筒の大きさや案内冊子のフルカラー化により、わかりやすい案内を心掛け、特定保健指導では、電話による利用勧奨を行った。今後も受診の必要性や仕方などを丁寧に周知することで、目標達成に努める。(実績報告 P. 79 事業番号 1-2-2)

### ○ がん対策

#### (1) がん検診受診率の向上

がん検診についての啓発、受診勧奨とともに、受診しやすい環境整備を推進し、がん検診受診率の向上を図っている。乳がん月間に27年度は街頭キャンペーン・マルチビジョン放映を行い、加えて28年度は、乳がん講演会を行った。受診率は、乳がん検診では増加したが、胃がん・大腸がん受診率が減少した。今後も個別勧奨や区報等により、周知を図るとともに、胃内視鏡検査を追加することにより、受診率向上を図る。(実績報告 P. 79 事業番号 1-3-1)

## ○ 母子の健康づくり

### (1) 妊娠・出産への支援

経済的負担を軽減し安全な出産に導くため、また歯周疾患のリスクが高まる妊娠中に口腔衛生の向上を図るため、妊婦健康診査と妊婦歯周疾患検診を行っている。25年度から4年間で、妊婦健康診査の受診者数と妊婦歯周疾患検診はともに増加している。また27年度より開始したネウボラ面接は制度周知が進み、面接実施件数が増加し、ハイリスク妊婦の把握と適切な早期支援を実施することができた。(実績報告 P.80 事業番号 1-4-1)

### (2) 新生児期からの育児支援

新生児期の乳児がいる家庭を訪問し、母子の健康管理や子育て等に関する情報提供を行っている。事業周知のため、ネウボラ面接(妊婦全数面接)や母親学級・両親学級、子育て応援メールなどを活用している。訪問の実績は前年度を約100件上回り、訪問率も目標値へ徐々に近づいている。(実績報告 P.81 事業番号 1-4-2)

### (3) 子どもの健康の確保

4か月から3歳までの乳幼児を対象として、年齢別に発育・発達状態の健康診査を行い、育児に必要な保健指導を実施している。健診については、引き続き目標値を上回る受診率となっており、各健診ごとに要支援家庭を把握するためにカンファレンスを行い、必要な支援につなげている。また未来所者については、家庭訪問等により受診勧奨し、さらに他医療機関での受診など状況の把握を行っている。(実績報告 P.82 事業番号 1-4-3)

## ○ 高齢者の健康づくり

### (1) 介護予防事業の充実

すべての高齢者が元気な体を維持し、要支援や要介護状態になることを予防するため、介護予防事業を行っている。文の京介護予防体操では、会場の増設や二部制の実施をすすめた。新たな参加者も多く、高齢者が地域で気軽に運動をはじめるとして定着している。実績も目標値を大きく上回っており、今後もあらゆる機会を捉え、介護予防の普及啓発を図っていく。(実績報告 P.83 事業番号 1-5-3)

## ○ 食育の推進

### (1) 食を通じたコミュニケーション

区民が望ましい食習慣を実践できるよう、食育を推進するため食のリーダーとなる食育サポーターを育成している。27年度、28年度ともに目標値を超えたが、今後もサポーター数を増やし内容を充実させていく。(実績報告 P.84 事業番号 1-6-2)

## 2 地域医療の推進と療養支援

---

### ○ 地域医療の推進

#### (1) 地域医療連携の充実

地区三師会、区内大学病院、その他関係医療機関からなる協議会、検討部会を開催し、地域医療連携について検討した。在宅医療検討部会においては「地域における医療・介護の連携に関する現状と課題、解決に向けての取組み（案）」が提案された。28年度、かかりつけ医・在宅療養相談窓口を小石川医師会に開設した。（実績報告 P.85 事業番号 2-1-1）

### ○ 災害時医療の確保

#### (1) 災害時医療の確保

年次計画に基づき災害用医療資器材を更新し、医薬品についても更新し、新たな品目を追加で配備した。また、災害時の医療救護マニュアルに基づいた訓練の実施や、三師会を対象にした区主催のトリアージ研修会の開催等により、医療救護活動に従事する医師等のスキルアップを図った。（実績報告 P.86 事業番号 2-2-1）

#### (2) 要医療援護者の災害時の支援

在宅人工呼吸器使用者の不測の事態における安全確保のため、患者ごとに「災害時個別支援計画」を策定し、災害時の支援体制を整えている。対象者の把握については、介護保険課、障害福祉課と連携し、新規ケースの把握ができた。また計画策定については、新規1名、モニタリング2名合わせて3名の個別支援計画を作成した。（実績報告 P.86 事業番号 2-2-2）

### ○ 精神保健医療対策

#### (1) 精神障害者の地域生活支援体制の充実

精神障害者の病状悪化、治療中断及び怠薬を予防するため、地域活動支援センターの支援員が自宅訪問や通院同行をしている。27年度のような急激な利用者増加は無かったが、安定して通院同行や服薬確認などの支援を行うことができた。（実績報告 P.87 事業番号 2-3-2）

### 3 健康安全の確保

---

#### ○ 健康危機管理体制の強化

##### (1) 新型インフルエンザ対策の体制整備

新型インフルエンザ等感染症について、発生時のまん延防止対策及び医療体制等を協議するとともに、関係機関間の連携体制を構築するために、25年度から「文京区新型インフルエンザ等感染症医療体制検討会議」を設置した。28年度も引き続き会議を実施し、情報共有等を行った。(実績報告 P. 87 事業番号 3-1-2)

#### ○ 感染症対策

##### (1) 予防接種率の向上

定期予防接種について接種率の向上を図るため適切な情報提供や積極的勧奨を行っている。MR（麻しん・風しん混合）ワクチンの予防接種については、MR1期（満12か月～満24か月に接種）の接種率は目標を上回っているが、MR2期（5歳以上7歳未満で小学校就学前の1年間で接種）は目標値を下回っている。引き続き、予診票の個別発送、保育園・幼稚園を通したチラシの配布等を行い、接種勧奨に努める。子宮頸がん予防ワクチンについては、25年6月に積極的接種勧奨が差し控えられて以降、接種者数は大きく減少している。勧奨の再開については未定。(実績報告 P. 88 事業番号 3-2-4)